

夏期に栽培可能な葉菜類の品目と有望品種

平坦地域では夏期にコマツナ、ミズナおよびパクチョイが栽培可能で、品種としてはコマツナでは「極楽天」および「はっけい」が、ミズナでは「京みぞれ」、「早生千筋京水菜」および「京白泉」が、また、パクチョイでは「ロンフー」が有望である。

農業研究センターい業研究所作付体系研究室（担当者：岩本英伸）

農業研究センター農産園芸研究所野菜研究室（担当者：竹下佐和子）

研究のねらい

本県の夏期は高温による発芽不良や立ち枯れ性病害、チップバーン等の生理障害の発生により、ハウレンソウやチンゲンサイなどの葉菜類の生産が非常に不安定である。このため地場市場や近年増加している直売所向けの供給が不足しており、耐暑性のある栽培可能な品目の選定が望まれている。そこで、夏期に栽培できる収益性の高い品目および品種を選定する。

研究の成果

1. 平坦地域では夏期にコマツナ、ミズナおよびパクチョイが栽培可能である。
2. コマツナでは、生育や収量はやや劣るが、葉が内側に湾曲するカップング（写真1）の発生が無い「極楽天」および「はっけい」が有望である（表1）。葉色は「はっけい」が「極楽天」より濃緑である（表1）。
3. ミズナでは、「京みぞれ」、「早生千筋京水菜」および「京白泉」が生育が旺盛で収量も多く有望である。葉の形状等に品種間で大きな違いは見られない（表2）。
4. パクチョイ（「ロンフー」）は障害等の発生がなく正常に生育する（表3）。

普及上の留意点

1. 雨よけ栽培とするが、ハウスサイドや妻面を高い位置まで開放してハウス内の気温上昇を防止する。また、必要に応じて遮光を行う。
2. 土壌が乾燥しやすいので不足しないように十分灌水を行う。
3. 害虫の発生が多い時期であるため、防虫ネットと薬剤防除を組み合わせた対策をとる。薬剤防除については生育が速いことから、時期を逸しないように農薬の使用基準を遵守して計画的に行う。

表 1 コマツナの生育 (20株調査)

品種	草丈 (cm)	株重 (g)	葉数 (枚)	最大葉						カップ ピング の有無
				葉長 (cm)	葉身長 (cm)	葉柄長 (cm)	葉身率 (%)	葉幅 (cm)	葉色 (SPAD値)	
極楽天	23.8	14.7	5.7	22.2	11.9	10.3	53.5	8.9	35.6	無し
はっけい	20.8	12.9	6.5	20.3	11.5	8.8	56.7	7.2	42.4	無し
里ごころ	25.1	16.8	6.3	24.3	12.2	12.2	50.0	7.9	34.5	有り

注) 2010年にい業研究所で実施した

間口6 m、奥行15 mの単棟ハウスでの雨よけ栽培、無遮光、ハウスサイド1mm目合い防虫ネット、7月28日は種、8月16日収穫、畝幅1.2m (床幅0.8m)、株間5cm、5条植え (条間15cm)
葉身率は葉身長/葉長×100



写真 1 コマツナにおけるカップピングの発生状況

表 2 ミズナの生育 (40株調査)

品種	草丈 (cm)	株重 (g)	葉数 (枚)	最大葉幅 (cm)
京みぞれ	32.6	37.4	36.9	7.9
サラダ用京水菜	31.9	27.7	26.9	7.8
早生千筋京水菜	34.2	38.9	35.5	8.0
京白泉	34.4	41.4	34.4	8.7
みずみずしい菜	31.7	27.1	29.1	7.6
涼風みず菜	32.6	30.0	27.5	7.7
夏千緑水菜	32.5	30.6	30.7	7.4

注) 2010年に農産園芸研究所で実施した

間口6 m、奥行15 mの単棟ハウスでの雨よけ栽培、50%遮光、ハウスサイド1mm目合い防虫ネット、8月13日は種、9月9日収穫、畝幅1.5m (床幅1.0m)、株間5cm、3条植え (条間20cm)

表 3 パクチョイの生育 (20株調査)

品種	草丈 (cm)	株重 (g)	葉数 (枚)	最大葉				
				葉長 (cm)	葉身長 (cm)	葉柄長 (cm)	葉幅 (cm)	葉色 (SPAD値)
ロンブー	19.4	127.3	12.0	18.0	12.0	6.0	15.6	45.2

注) 2010年にい業研究所で実施した

間口6 m、奥行15 mの単棟ハウスでの雨よけ栽培、無遮光、ハウスサイド1mm目合い防虫ネット、7月28日は種、8月30日収穫、畝幅1.2m (床幅0.8m)、株間15cm、4条植え (条間18cm)